



**災害対策関連等
8,322 万円補正
(一般会計・特別会計)**

9月定例会は、8月31日から始まり、9月29日まで30日間の会期で開けられました。市長から議案8件、同意1件、認定1件が提出され、それぞれ原案どおり可決、同意、認定しました。

一般質問は2会派の代表から会派代表質問が、個人質問は11人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

9月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

同意 第1号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	監査委員の川名部正一氏が平成23年9月30日をもって任期満了となるため、同氏を再度選任いたしたく提案するもの	全会同意
議案 第1号	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長の給与の減額期間を平成27年8月24日まで延長するもの	全会可決
議案 第2号	富里市安全なまちづくり基金条例の制定について	市民の安全を守る施策の推進を図り、災害対策の充実に要する経費に充てるため基金を設置するもの	全会可決
議案 第3号	富里市税条例等の一部を改正する条例の制定について	「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」等が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもの	多数可決
議案 第4号	富里市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」等が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもの	多数可決
議案 第5号	平成23年度富里市一般会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ4億2,308万1千円を追加し、総額を153億6,241万9千円とするもの	多数可決
議案 第6号	平成23年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ97万4千円を追加し、総額を54億5,489万4千円とするもの	全会可決
議案 第7号	平成23年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ1,096万2千円を追加し、総額を7億2,721万9千円とするもの	全会可決
議案 第8号	平成23年度富里市介護保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ5,674万円を追加し、総額を18億5,214万円とするもの	全会可決
認定 第1号	平成22年度富里市各会計歳入歳出決算の認定について	平成22年度一般会計及び国民健康保険特別会計外4特別会計並びに水道事業会計の歳入歳出決算について議会の認定を得ようとするもの	多数認定

9月定例会の採決結果		結果	市民クラブ								公明クラブ		無会派						賛成	反対		
			岡野	田口	戸村	原	鈴木	高橋	猪狩	栗原	佐藤	大川	布川	江原	五十	井上	高橋	窪田			櫻井	柏崎
			耕平	勝一	喜一郎	清一	英吉	益枝	一郎	恒治	繁夫	原喜み子	好夫	利勝	風博文	康	祐子	優			優好	のり子
多＝賛成多数　×＝賛成少数　継＝閉会中の継続審査 ○＝賛成　×＝反対　退＝退席　欠＝欠席 【継】＝前定例会以前からの継続案件		※猪狩一郎議員は議長のため採決に加わっていません。																				
番号	件名																					
市長提出議案																						
同1	監査委員の選任につき同意を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議1	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議2	富里市安全なまちづくり基金条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議3	富里市税条例等の一部を改正する条例の制定について	多	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
議4	富里市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	多	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
議5	平成23年度富里市一般会計補正予算（第3号）	多	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	16	1
議6	平成23年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議7	平成23年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	全	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議8	平成23年度富里市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
認1	平成22年度富里市各会計歳入歳出決算の認定について	多	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1

平成 22 年度富里市各会計歳入歳出決算審査報告（抜粋）

委員長 高橋 益枝

委員長
高橋益枝
委員
五十嵐博文、井上 康、高橋祐子、岡野耕平、田口勝一、戸村喜一郎、大川原きみ子、柏崎のり子

副委員長
布川好夫

決算審査特別委員会を設置

平成 22 年度の一般会計及び国民健康保険特別会計など 5 特別会計の決算は、歳入が 225 億 4,914 万 4,803 円、歳出は 217 億 8,528 万 9,778 円となっており、実質収支は 7 億 1,636 万 3,025 円の黒字、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、7,697 万 1,135 円の黒字となっている。

これを地方公共団体の財政状況の分析に用いる普通会計における財務分析の数値で前年度と比較すると、財政力指数は 0.808 で 0.025 ポイント低下している。公債費比率は 8.5％で 0.7 ポイント、実質公債費比率は 6.0％で 1.1 ポイント、それぞれ前年度を下回っている。また、経常収支比率は 90.3％で、依然として財政構造の硬直化の傾向が見られる。地方債現在高は 112 億 3,713 万 7,000 円で、前年度と比較すると 4.35％の増加となっている。

一般会計の根幹をなす市税の収納率は 81.78％で、前年度と比較して横ばいであり、市税収入は 1 億 5,700 万円ほどの減少となっている。

水道事業会計決算における、経営状況は、前年度純利益に比較し 12.02％の減少となったものの、8,824 万 5,078 円の当年度純利益となった。

要因としては、水道事業費用が前年度に比較して減少したものの、特別利益や加入金の減少等により水道事業収益もこの減少をさらに上回ったため、前年度の純利益を下回る結果となった。

このような状況を踏まえた上で、本決算審査特別委員会は、9 月 15 日、16 日、20 日、21 日の 4 日間にわたり、3 階第 3 会議室において、市長、副市長、教育長及び関係部課長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

審査の過程においては、活発な議論を経て、適正で効率的な予算の執行について当局の見解をただしました。

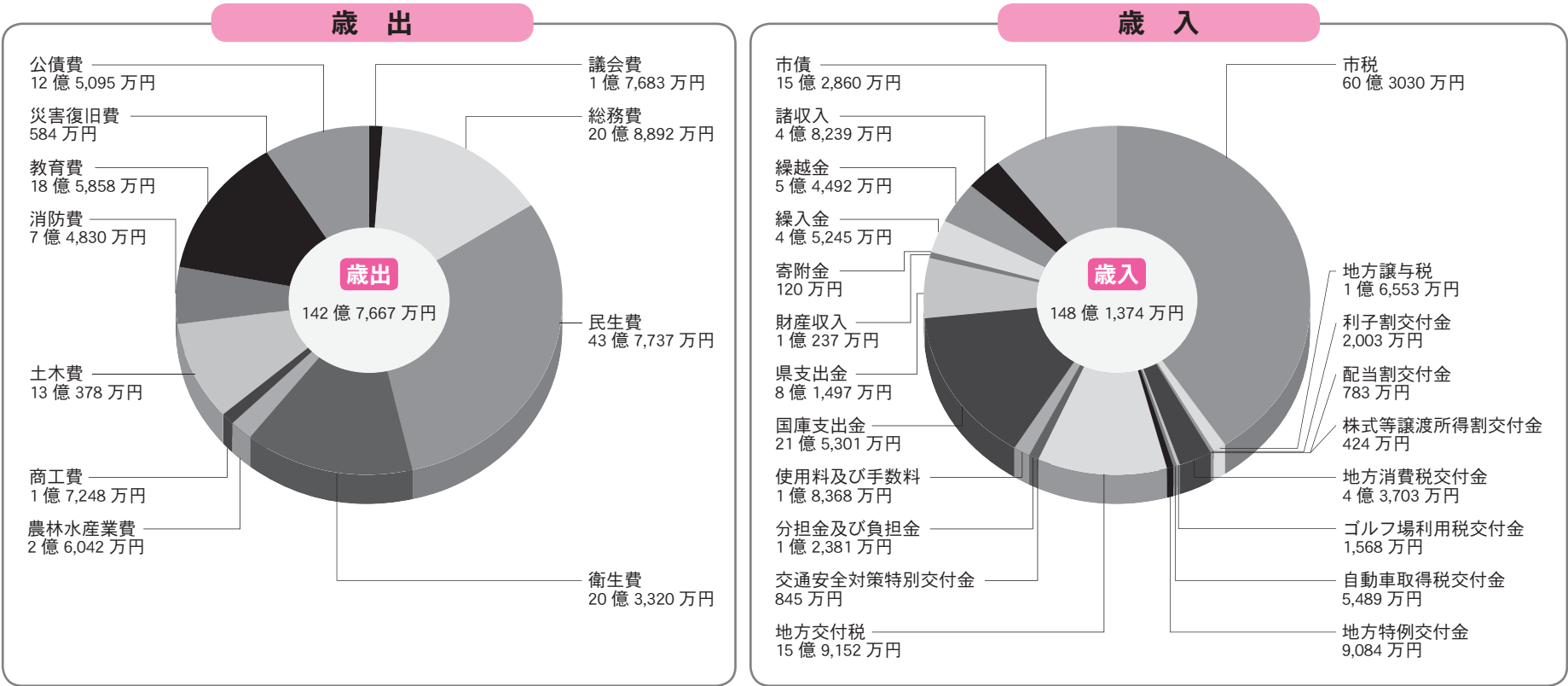
審査の結果、監査委員の意見書のとおり、各会計とも計数については誤りのないものと認められました。

今後の予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を上げるよう」より一層の検討を加え、これまで以上に効果的・効率的な市政運営に努め、市民の期待にこたえるための予算執行となるよう、特に次の事項について適切な措置を期待し、報告いたします。

- 1 納税機会拡大のため、市税のクレジット納付について検討すること。
- 2 消防職員の増員による消防力の強化に努めること。
- 3 個別指導補助員を南中にも配置すること。
- 4 文化振興のため、芸術鑑賞事業の充実を図ること。
- 5 設計監理等を技術系職員が自ら行えるよう体制の整備を図ること。
- 6 スポーツ健康フェスタについて、運営面を検討し充実を図ること。
- 7 障害者の自立を支援するため、運転免許取得助成制度、自動車改造費助成制度の積極的な周知に努めること。
- 8 特定健診受診率向上のための方策を講ずること。
- 9 後期高齢者医療広域連合に対して、医療費を極力抑制しつつ高齢者が健康で長生きできるような予防のための検診事業の実施について働きかけること。
- 10 指定管理者との協議をより深め、コミュニティセンターの備品等の整備に努めること。
- 11 農林業センターについて、農業者以外の市民も利用可能であることを周知するとともに、その備品等の整備は千葉県と協議の上、整備主体を明確にして対応すること。
- 12 L E D 照明の防犯灯を設置する場合の防犯灯設置等補助金の上乗せについて検討すること。

以上のとおり要望を付し、認定第 1 号平成 22 年度富里市各会計歳入歳出決算の認定については、採決の結果、賛成多数にて、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

平成 22 年度一般会計決算



市民一人当たりに使われたお金

- 総務費……………42,307 円
- 民生費……………88,656 円
- 衛生費……………41,179 円
- 農林水産業費…………… 5,274 円
- 土木費……………26,406 円
- 消防費……………15,155 円
- 教育費……………37,642 円
- その他……………32,528 円
- 合 計……………289,148 円

※人口は平成 23 年 3 月 31 日現在 49,375 人で試算



富小第二校舎耐震化完了



消防団第 11 分団（両国）小型動力ポンプ付積載車更新

平成 22 年度に実施された事業から



協働のまちづくり推進計画策定



新清掃工場建設が進む

議員研修

平成 23 年度富里市議会議員研修会
期日：10 月 3 日
講師：福島県立医科大学副学長 山下俊一氏
内容：福島原発事故と放射線健康リスク管理



総務建設常任委員会視察
期日：10 月 4 から 6 日までの 3 日間
視察地及び視察事項
(1) 群馬県千代田町
・企業誘致について
(2) 福井県越前市
・太陽光発電補助制度について
・企業立地優遇制度について
(3) 福井県原子力環境監視センター
・原子力環境監視センターについて
(4) 大阪府阪南市
・阪南ブランド十四匠について
・市制施行 20 周年事業について



福井県原子力環境監視センター

一般質問

質の
身よ
る本
文自
稿に
です。
※本
問者
原も

通告項目（会派代表）

市民クラブ
(1) 選挙公約について
(2) 市有財産について
公明クラブ
(1) 市長の政治姿勢について
(2) 被災者に対する行政サービスについて
(3) 施設整備について

通告項目（個人）

大川原きみ子
(1) 市民生活に密着した公共交通について
(2) 学校でのいじめについて
(3) 福祉政策及び市民サービス向上について

文教厚生常任委員会
期日：10 月 12 日から 14 日までの 3 日間
視察地及び視察事項
(1) 栃木県下野市
・保健福祉センターについて
(2) 山形県高畠町
・教育施設における環境教育について
(3) 岩手県奥州市
・学校支援ボランティアについて



岩手県奥州市

千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会
期日：10 月 20 日
講師：野村 稔氏 内容：地方議員のための基礎入門

佐藤繁夫
(1) 教育問題について
高橋益枝
(1) 富里市の活性化について
(2) 新米の放射性物質検査について
(3) 男女共同参画について
(4) (仮称) 空き家管理条例について
(5) 防犯・防災メールについて
鈴木英吉
(1) 富里市の事業について
(2) 人事管理について
(3) 富里市協働のまちづくり条例について
(4) 防災行政について
田口勝一
(1) 農業問題について
(2) 教育について
岡野耕平
(1) 成田空港の開港時間の延長について
(2) 富里市における東京税関扱いの現状について
(3) 富里工業団地（高野）と第二工業団地を結ぶ道路について
柏崎のり子
(1) 第五次の改定介護保険の問題点について
(2) 小中学校の耐震化と防災機能強化について
(3) 放射線汚染対策について
(4) 住宅用太陽光発電設備設置の助成について
井上 康
(1) 市民への情報公開について
(2) 国民健康保険、医療費抑制策について
(3) 協働のまちづくりについて
(4) 富里市の防災体制について
高橋祐子
(1) 環境・公園行政について
(2) 福祉行政について
(3) 市長選挙における公約と施策について
五十嵐博文
(1) 組織について
(2) 財政について
(3) 産業経済について
窪田 優
(1) 小・中学校のホームページについて
(2) 市長の公約について

市民クラブ
栗原恒治
問 選挙公約実現に向けての道筋は

答 任期中に達成できるよう取り組んでまいります

問 公共交通の充実については。
答 今年度公共交通体系検証調査を実施。平成 24 年度に本市の実情に即した公共交通の姿を検討し、移動手段を確保します。
問 保健センター建設については。
答 築後三〇年、老朽化対策やバリアフリー化、プライバシー確保が課題となり年々受診環境の低下が見られることから、任期中に新保健センター建設の道筋を立ててまいりたいと考えます。
問 子ども医療費の中学校卒業までの一部無料化については。
答 千葉県県の動向などを注視しながら、平成 24 年度には拡大できるよう引き続き検討してまいります。
問 中間処理施設（新清掃工場）の完成は。
答 現在平成 24 年 9 月完成を目指して工事が進められているので、成田市と緊密に連絡調整を図りながら進めていきます。
問 給食センターの統合整備については。
答 今年度基本設計に着手し、今後計画どおり整備できるよう進めてまいります。
問 酒々井 IC と空港を結ぶ〇一〇〇八号線の完成については。
答 平成 25 年度完成を目指し取り組みます。
問 環境施設用地一五町歩の活用について。
答 本年 3 月、市有地土地利用研究会を、庁内組織として立ち上げ、現在調査研究をしているところです。
問 最後に、農林水産省の推奨している六次産業化を活用しての直売所の検討及び西側谷津の保全、湧き水を枯死させない方法での開発を提案します。
答 検討していきます。

公明クラブ
布川好夫
問 「市長選での公約」保健センターの建設は

答 平成 27 年までに建設着手への道筋を立てます

問 保健センターの役割はとても重要だと思います。乳幼児からお年寄りまですべての市民が生涯健康で人生を送るためにも十分に計画していただき、環境に配慮し災害時において医薬品備蓄等の機能も考えて、検討委員会の設置をぜひお願いします。
答 検討していきます。
問 子ども医療費の中学生卒業までの無料化について、近隣市町でも実施されておりますが当市では。
答 平成 24 年度に実施できるよう引き続き検討していきます。
問 給食センターの統合整備について。
答 今年度基本設計に着手し計画どおり整備できるように進めます。
問 成田富里共同事業の中間処理施設（新清掃工場）の完成について。
答 平成 24 年 9 月の完成を目指して工事が進められています。移行がスムーズに行われるよう準備します。
問 酒々井 IC と空港を結ぶ〇一〇〇八号線の完成について。
答 平成 25 年度までに完成できるよう進めます。
問 自然エネルギー政策について。
答 太陽光を利用した発電システムを市役所に整備しています。住宅用太陽光発電システム設置補助の予算上程しました。
問 住宅用太陽光発電システム設置で市内業者が施工した場合の優遇措置は考えられないのか。
答 補助金の交付について市内業者施工に対する優遇を前向きに検討します。

大川原きみ子
問 ごみ袋の大きさについて



答 可燃ごみ袋は約半分の大きさを作成の方向です

問 ごみ袋の大きさ変更について。

答 ごみの排出量の少ない世帯向けに、可燃ごみ袋は現在の約半分程度の大きさを作成する方向で業者と協議しています。

問 早い時期の実施と詳細について。

答 現可燃ごみ袋の半分約一五リットルを予定し早い時期、店頭に並ぶよう進めていきます。

『高齢者の安心・希望・健康保持について』

問 高齢者の聴力検査を介護予防として生活機能評価表に含めることについて。

答 生活機能チェックリストの項目に聴力を追加することは直接介護予防教室に結びつけることが難しい。しかし高齢者の身心の向上を計るため近隣市の動向を見ながら検討していきます。

問 高齢者の運転免許返納による住基カード発行手数料の優遇措置について。

答 優遇措置として検討を行っていきます。

『子育てにやさしいまちづくり』

問 子育て支援ネットワークについて。

答 子育て家庭を支援するためボランティアの育成や民生委員、家庭相談員と定期的な会議を持っています。「子育て応援ブック」を新たに五、〇〇〇部作成し、地区社会福祉協議会や生後四力月健診時等で配布しています。



佐藤繁夫
問 子供の安心、安全を守る地域と学校の連携は



答 関係機関と連携し、見守り体制の検討をします

問 市内のある学校の子供が、春先事件に巻き込まれそうになったことがありましてので、防犯指導員はその後二カ月くらいパトロールをしたようですが、地元地域は動かなかったと聞いています。

このような事件のあった村上市では、教育委員会が主管の村上市青少年健全育成センターが中心となつて、ながらパトロール隊を結成しました。隊員一、五四〇名で、そのボランティア活動は、ながらの登下校時の見守りや、付き添い等で、犯罪件数は大きく減ったようです。

富里市でもながらパトロールはできないでしょうか。

答 春先の件については、PTAもパトロールを行ったと聞いております。

本市でも関係団体や地域を巻き込んだ活動を検討してまいります。

『教職員の時間外勤務対策は』

問 教職員の時間外勤務の多くは、本来の教える仕事以外の事務や雑務が多く、勤務時間も7時から19時というものが、半ば常識化しているようです。時間外勤務を減らす必要があると思いますが、教育委員会の考えはいかがですか。

答 恐らく特効薬は今のところありません。校長も頭を痛めているところですが、ノー残業デーの設定や、事務の合理化等、教育委員会も努めています。現状は大変厳しい状況で、残業が多いことは認めざるを得ません。改善に向けて話し合っています。

高橋益枝
問 新米の放射性物質の検査について



答 放射性セシウム「検出せず」でした

問 新米の放射性物質検査はどうなっていますか。

答 8月16日に予備調査を行い、8月20日に公表され、放射性セシウムは「検出せず」となりました。本調査は8月29日に行い8月31日に「検出せず」となりました。

『DV防止基本計画について』

問 市のDV被害の相談件数は。

答 平成21年度は六六件で、平成22年度は一三四件です。

問 DV被害の相談先の周知は。

答 県女性サポートセンターが、三六五日二四時間体制で電話相談を行っており、名刺サイズの相談案内を公共機関の窓口や市役所の女子トイレに配置しています。

問 野田市では、基本計画が策定され県から努力義務のお知らせがきています。市川市も予定しています。市としては。

答 調査、研究してまいります。

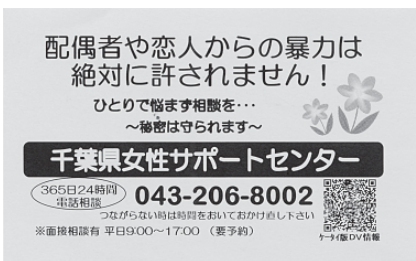
『空き家バンク制度について』

問 これまでも空き家の実態調査を何回か質問していますが、いかがですか。

答 実態調査はします。

問 いすみ市ではこの制度で実績をあげていますが、いかがですか。

答 調査研究が必要であると考えます。



窓口、女子トイレにあります

鈴木英吉
問 富里市の事業計画は



答 実施計画に基づき着実に実施していきます

問 新規事業について。

答 新規事業は、保健センターの建設までの道筋と新たな交通網の構想として成田空港から富里を経由して八街駅をつなぐアクセスについて調査研究していきます。

問 継続事業について。

答 選挙公約で取り上げた子ども医療費の対象者拡大や給食センターの統合整備等実施計画に基づき実施していきます。

問 文化事業について。

答 芸術鑑賞事業は、本年度四年目を迎え市内在住の芸術家の作品を展示し、来場者から大変好評を博しております。

『人事管理について』

問 人事管理上の課題とその解決について。

答 職員の適性や能力を的確に把握しその結果を昇任や給与、人事配置など適正に反映させ職員の資質、能力を向上させる制度を早急に構築すべきと考えています。

『富里市協働のまちづくり条例について』

問 富里市協働のまちづくり条例について。

答 本年度から、推進計画に定めた各種事業に取り組んでいるところであります。

『防災行政について』

問 防災無線のデジタル化について。

答 親局のデジタル化と聞き取れない対策として自動応答電話装置を設置します。



大好評、市内芸術家の絵画展

田口勝一
問 すいかの里生産支援事業の継続の予定は



答 来年度も継続の方向で検討中です

『農業問題について』

問 原発事故による風評被害について、対策は考えていますか。

答 放射性物質の簡易検査機器の導入補助や、市独自の検査体制を考えています。

問 南七栄南西地区市有地に、農産物直売所や農業体験施設をつくる計画は。

答 庁内に研究会を組織して検討中です。

『教育について』

問 新学習指導要領への移行に伴う、授業内容や授業時間の増加について、どうなっていますか。

答 新学習指導要領は、ゆとりや詰め込みではなく、基礎的な知識技能の習得と、思考力判断力表現力の育成を、バランスよく伸ばしていくために、教科等の授業時数を増加し、指導内容を改善し、きめ細やかで質の高い教育を進めるための改訂です。具体的増加時間については、小学校では国語・算数・理科・体育の授業時間が一〇パーセント程度増加し、一、二年生で週二時間、三年生から六年生までは週一時間の増加となっています。

中学校では、来年度から、国語・社会・数学・理科・外国語・保健体育の授業時間数を実質一〇パーセント程度増加され、すべての学年において週一時間の増加となります。

問 東京都の取組を参考にして、土曜日の授業の復活や、夏休みの短縮を検討する考えはありませんか。

答 現行の条例や規則の範囲内で、できないか調査研究してまいります。

岡野 耕平

問 成田空港の開港
時間延長につい
て



答 早急に対応でき
るものではない
と考えます

問 前後一時間の延長について。

答 騒音対策から6時～23時になつてい
る。平成6年12月の成田空港問題円卓会
議の合意事項として、22時台の両滑走路
とも一〇便以下の制限となっています。

騒音の問題等があり、早急に対応でき
るものではないと考えます。

問 開港30年がたち、国際線は成田、国内
便は羽田というすみ分けが崩れつつあり
ます。この厳しい状況を打破するための
声を地域から発する必要があると思うが。

答 そのような声を自治体から上げていく
ことは、行政としては厳しいと考えます。

**『富里市における東京税関扱いの現状に
ついて』**

問 富里市における東京税関扱いの現状に
ついて、当市の経過は。

答 平成14年に空港内で扱えるようになり
ましたが、取り扱い関連企業の進出はあ
りませんでした。

問 進出がなかった理由は。

答 距離的な問題があると考えられます。

**『富里工業団地（高野）と第二工業団地
を結ぶ道路について』**

問 富里工業団地（高野）と第二工業団地を
結ぶ道路について。

答 マスタープランの補助幹線道路に位置
づけられています。具体的な整備計画
は現時点ではありません。

問 両国経由や市道〇一〇一一号線は南
小の通学路でもあり危険です。市道三一
〇〇九三号線の拡幅延長は。

答 整備の必要性などを総合的に検討して
まいります。

柏崎のり子

問 改定介護保険の
問題点・高齢者
の安心の保障は



答 市町村の役割大
調査を基礎に計
画策定します

問 改定介護保険は、サービスの内容も料
金設定もすべて市町村まかせで市の責任
は重大です。これまでの事業計画の分析
反省点、実態調査を行うべきと考えます。

答 必要と考え実態調査については要介護
認定者八〇〇人、二、〇〇〇人にアンケ
ート調査を実施しました。基礎資料とし
て第五期の事業計画を策定します。

問 介護予防、日常生活支援総合事業にす
るか現在の制度にするかは市町村の判断
ですがペナルティーでもあるのですか。

答 来年度から保険者の選択になります。が
総合事業を実施しない場合従来の制度利
用となり、ペナルティーないと聞きます。

問 介護認定され施設入所を希望しても、
七八人待っています。施設整備は。

答 待機者もおり必要性は認識しています。
設置について策定委員会で検討します。

問 保険料、利用料等について低所得者の
軽減は当然ですが現在の所得区分が六段
階です。細分化の対応を求めます。

答 一定所得金額以下は特例を設け軽減し
ており継続の予定で。国においては所
得の細分化を可能とする方向です。市と
しても事業計画の中で検討します。

問 要支援者は必要なケアで生活が成り立
っており今度の制度が介護から要支援者
をはずし給付抑制の手段として実施され
るのは大問題です。利用制限、施設不足
高い保険料を払い続けても必要な介護が
受けられない制度の見直しこそ高齢者の
声であり願いです。

答 地域で安心できる計画を策定していき
ます。

井上 康

問 市民の皆様への
積極的な情報公
開が不可欠です



答 わかりやすい開
示、積極的な開
示を心がけます

問 本格的な高齢化に伴い、医療費や民生
費負担の伸びが大きい一方、自主財源の
市民税収入が減ってきています。その中
で今後老朽化した公共施設（保健センタ
ー等）の建てかえや改修に多額の出費が予
定されています。市の財務状況を積極的
に市民へ開示し、市の今の課題と将来の
方向を市民と一緒に考えていくべきです。

答 現在、当初予算の概要や決算の状況な
どについて広報やホームページで公表し
ていますが、十分な情報提供に至ってい
ません。市民にわかりやすい公表形態、
積極的な開示を心がけてまいります。

問 市と市民が協働して、読みやすく見や
すい「財政白書」をつくって公表すること
を提案します。

答 財政白書作成の予定はありませんが、
もし市民の皆様からご提案があれば積極
的にサポートさせていただきます。

問 地方公会計制度の導入と公開がしてく
れています。より効率的な行政運営を進
めていくために、民間で行われているよ
うな資産や負債、コスト等の情報を意識
した「複式簿記」の地方公会計制度を取り
入れるべきです。

答 今準備を進めています。できる限り早
く導入してまいります。

『協働のまちづくりについて』

問 「協働のまちづくり推進計画」が予定ど
おり進んでいるか、広く市民の皆様から
の評価をいただくべきです。

答 推進委員会が評価をします。評価結
果を市民の皆様へ公表する予定です。

高橋祐子

問 空港く富里く八
街へのアクセス
構想の実現を



答 この構想を夢と
して掲げ、調査
研究します

問 人口減少対策は喫緊の課題です。人を
呼び込み、郷土愛を持つて住み続けても
らう施策展開が必要ではありませんか。

答 移転したい理由のトップは交通網。夢
のアクセス構想を実現させることが人口
減を止めるという期待も。空港が発展す
れば実現できるのではないかと思います。

問 保健センターの建て替えは単なる箱物
ではなく、福祉政策の中核となりうる複
合的な形で考えていただけませんか。

答 今期中に道筋を立ててまいります。

『環境・公園行政について』

問 新清掃工場の余熱利用施設（温水プ
ール等）は、富里市民も利用できますか。

答 成田市に検討をお願いし前向きな発言
がありました。

問 「中央公園のトイレが汚い」と市民の声
を聞きます。憩いの場であり、市のイメ
ージにつながるので改善策を。老朽化し
たトイレの外壁をスイカや馬の絵を描く
など明るく清潔に塗りがえてみては。

答 検討してまいりたいと思います。

『福祉行政について』



市民が憩う中央公園

五十嵐博文

問 産業振興基本条
例は、産業振興
への第一歩



答 条例の制定に向
け、調査研究を
します

『組織について』

問 行政組織検討委員会について。

答 市民ニーズに、適切なサービスを提供
する組織を検討する諮問機関です。

問 職員の頑張りが市民の生活をも変える。
その頑張りを生むのが組織であることか
ら、委員会の持つ責任は重大。常に動
向を確認し、評価すべきでは。

答 あらゆる機会を通じ検証します。

問 組織の向上について。

答 組織の向上は、人材の育成。人事評価
制度の充実により、新たな課題に対応す
る力を培っていきます。

問 育成について乏しい。人事評価の前に
人事育成シートをつくるべきでは。育成
があつての評価ではないか。

答 能力評価にあわせ、導入を検討します。

『財政について』

問 歳出の抑制には限界がある。自主財源
の確保に努力すべきでは。

答 市税が根幹であり、至上命令と認識し
ています。

問 自主財源の確保には、産業振興とまち
づくりが重要。まちづくりの指針である
都市マスタープランは策定から一〇年が
経過したが、進捗が図られていないが。

答 酒々井IC周辺の土地利用の検討を行
っています。

『産業振興について』

問 産業振興マスタープランについて。

答 具体的な指針として、調査研究をします。

問 条例は基本的事項。指針がなければ遂
行につながらない。策定すべきでは。

答 必要性を感じており、検討します。

窪田 優

問 小、中学校の
ホームページの
管理について



答 「開かれた学校
づくり」で学校
にらせています

問 学校によっては行事予定が前年度の計画のままで更新されていないところが見受けられますがなぜですか。

答 更新は情報教育担当、教頭、教務主任が行いますが、専門とした職員が常にいるわけではありません。

問 学校のホームページは、行事など情報発信のツールとして活用することで地域の支援、協力も広まると思います。

答 教育委員会として研修会、作成の助言、指導主事の派遣で努力をしています。

問 富里小学校では子供たちが作成している例があるようですが、先生が忙しい、手が回らず人の配置も無理なら、子供たちにホームページの作り方や使い方をなどを教えてくれる地域の方もいらつしやると思います。教育委員会はキャリア教育での経験を生かして協力を得られるように努力をお願いしたいと思います。

答 富里ではありませんが印旛管内にそうした活動をしている学校もあるようなのでご指摘の研究を進めていきます。重要なのは子供たちの個人情報点も合わせてこれから研究をしたいと思っています。

問 個人情報というのですが、例えば子供たちが撮った運動会の写真など、あまり慎重になり過ぎない配慮もお願いしたいと思います。

答 情報は保護者にも地域にも個人差があります。学校においては写真を「出して構わない」という方もいる一方で「一切出さないで」という方もいます。こうした調査も行いながら個人情報の提供には慎重に進めてまいります。

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案五件について、慎重に審査しました。

議案第二号、富里市安全なまちづくり基金条例の制定について、東日本大震災の被害を考慮し、本市に交付された交付金などの半分、二、〇〇〇万円を事業に充当するため制定するものです。

議案第三号、富里市税条例等の一部を改正する条例の制定について、現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して、市税の申告等に正当な事由がなく申告がなかった過料を三万円以下から一〇万円以下に引き上げを行うものです。

議案第四号、富里市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について、現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図り一部を改正する法律等が公布され、所要の改正を行うものです。

議案第五号、平成23年度富里市一般会計

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案三件について、慎重に審査しました。

議案第五号、平成23年度富里市一般会計補正予算（第三号）

① 社会福祉課の、自殺対策緊急強化事業は一六六万九、〇〇〇円を計上しましたが、これは自殺予防相談の保健師・看護師など、専門的知識を有する非常勤の職員を採用する費用と関連する必要経費です。

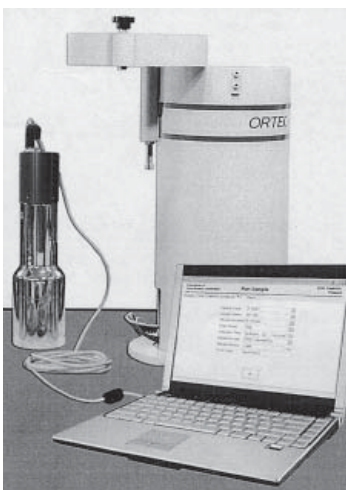
議員からの自殺対策についての質問に富里市の自殺者はかなり多く、平成17年七名・18年一六名・19年一〇名・20年一三名・21年一九名ということですので、相談窓口を開設して、相談者のプライバシーに配慮しながらこの窓口相談で、自殺防止に役立てたいとのこと。

② 健康推進課の、にんじんウォークについては、本年も保健推進委員、体育指導員、青少年相談員など、約四〇名のボランティア

補正予算（第三号）について、議会事務局から議員報酬、職員手当等の減額、財政課から庁舎空調設備改修工事等増額、産業経済課から農協が主体となつて行う放射性物質の検査に対し、機械の整備費用の二分の一の二五〇万円を助成する等説明があり、議員からの住宅用太陽光発電システム設置の補助金についての質問に、市内業者を利用したときの優遇について検討するとのことでした。

慎重に審査した結果、議案第七号も含め賛成全員にて可決されました。

（委員長 布川好夫



農畜産物の放射性物質検査機

アの協力を得て、比較的安全な道路を選定して、実施するとのこと

③ 教育委員会の個別指導補助員配置事業は、国籍がアフガニスタンで、ドバイから転入してきた家族がおり、小学四年の児童が一人・中学一年の生徒が二人・三年の生徒一人に、日本語指導を行うためペルシャ語の話せる者を本年度未まで採用することです。



にんじんウォーク（22年度）

慎重に審査した結果、議案第六号、議案第八号も含め、賛成全員にて可決されました。

（委員長 佐藤繁夫

市民の皆様方のご理解をお願いします

市議会議員等が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると法律で罰せられます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。寄付禁止のルールを守りましょう。

議会を傍聴しませんか

12月定例会は11月29日(火)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビでもご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄 652-1 議会事務局
TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

現在、富里市に課題は多くあります。本格的な高齢化に伴い、医療費や民生費などの出費の伸びが大きい一方、自主財源である市民税収入が減ってきています。その中で今後老朽化した公共施設（保健センター等）の建てかえや改修に多額の出費が予定されています。今後市がどのようにお金を使っていくべきか、どうやって収入を増やしていくべきか、市民の皆様と市と議会が情報を共有し一緒になって考えていく事が今まで以上に大事な時であると言えます。その面でも、この議会報の役割は大きいと考えています。

「読んでいただきやすい議会報」を目指し、今回「試み」として常任委員会からの報告を掲載いたしました。通例の一般質問や採決結果と合わせて委員会の事を知っていただくためです。今後、よりよい議会報を目指しさらに委員一同努力してまいります。そのためにも皆様からのご意見・ご感想を待ちしています。

（副委員長 井上 康 記）